

平成28年7月31日
今週のベストショット



奈多グラウンド 雁ノ巣ライナース 対 奈多クラブ戦
華麗な守備を披露した奈多クラブ上野遊撃手。

写真：写真：大坪和則

青松園A ブルーマーリンズ大量12得点！今季3勝目！

ブルーマーリンズ (3勝2敗1分) 0 3 0 2 7 12 林○-横山 (健)

ソルトベイスターズ (0勝6敗) 4 0 0 0 0 4 小山●、中村 (耕) -春田

HR：酒井、真弓(ソルト) **3BH**：横山 (健) (ブルー) **2BH**：川口、林(ブルー) 中村 (健)、春田(ソルト)

盗塁：谷山(ブルー) 中村 (健)、荒尾(ソルト)

ソルトベイスターズは一回裏、先頭の中村 (健) 選手の二塁打が相手レフトの送球ミスによりホームインとなり先制すると二番酒井選手、四番真弓選手にもHRが飛び出すなど、一挙に4点を先制する。守備のミスで得点を奪われたブルーマーリンズはその二回表、糸井選手の内野安打や相手サード、ショートのエラーなどがあり3点を返すと、四回表にも2点を追加。さらに五回表、代打攻勢で川口選手のタイムリー二塁打や林投手のタイムリー、更に相手バッテリーのWPなども絡み一気に7点を追加した。終わってみれば12-4とブルーマーリンズが大量得点を取ったが、両チームとも野手の連携ミスなどにより、ピンチが広がっていくという試合であった。ソルトベイスターズは相手のミスで広がったチャンスもあと一本が取れないという苦しい試合展開となった。

(記事・写真：三苦三球会 船橋 史哉)



両チーム整列の様子。



ソルト先発の小山投手。



ブルーマーリンズ先発の林投手。



ピンチで登板のソルト中村（耕）投手。



二塁打がエラーでホームインするソルト中村（健）選手。



ゴロを華麗にさばくも送球エラーになったソルト真弓選手。



ライト前タイムリーのブルーマーリンズ井上（広）選手。



林投手の球を捉えるもセカンドライナーのソルト石井選手。



ピンチを背負うも相手打球を三振にとるソルト小山投手。



代打でタイムリー二塁打のブルーマーリンズ川口選手。

奈多グラウンド ライナーズの終盤の猛攻に耐え、奈多クラブが勝利！

雁ノ巣ライナーズ（3勝2敗1分）100003 4 有馬●-山崎
 奈多クラブ（5勝0敗1分）40010X 5 今林（瑠）○-安河内

3BH：馬場口（奈多ク） 盗塁：今林（祐）（奈多ク）

日差しがまぶしい6時50分の奈多グラウンド。両チームとも準備が整い試合は始まった。先発は奈多クラブ今林（瑠）投手、雁ノ巣ライナーズは有馬投手。先攻ライナーズは二番国崎選手が四球で出塁しWPで二塁に進む。ここで四番宇野選手は初球を振りぬき、詰まりながらもセンター前にボールを運び1点を先制！続く五番久保田選手もライト前に鋭く弾き返し一二塁とし追加点のチャンスとなる。しかし、あとが続かず得点できなかった。一回裏奈多クラブは一番今林（祐）選手がファールで粘って四球で出塁する。続く二番今林（瑠）選手は高いワンバウンドで三塁手の頭上をグラブを弾きながらレフト前に打球を運ぶ。が、ここでレフトが球をそらし、一塁走者がホームに返り同点。一死後、四番馬場口選手は有馬投手の低めのインコースを鋭く低く左中間に弾き返し、タイムリー三塁打で1点を追加。続く五番安河内選手もレフト前ヒットを放ち更に1点を追加。そのあと、エラーもあってこの回、奈多クラブは一挙4点を挙げる。二回表二死後ライナーズは九番池内選手が塁に出ようとセーフティバントを試みる。ファールと思われたが奈多クラブ三塁手安部選手がダイビングキャッチで打球を好捕！上位打線につながるライナーズの反撃の芽を好プレーで摘み取った。三回表ライナーズは、一死後二番国崎選手がバントヒット、三番明瀬（航）選手が死球で出塁するとPBもあって一死二三塁とする。ここで初回タイムリーを放った四番宇野選手が打席に入る。ライナーズの反撃開始なるか！しかし、奈多クラブ今林（瑠）投手が踏ん張り、宇野選手をチェンジアップで三振、続く久保田選手は外角の球を上手く当てたがレフトフライに討ち取り、ライナーズは得点することができなかった。四回裏、奈多クラブは八番久保選手が四球で出塁する。九番今林（賢）選手もレフト前に弾き返し無死一二塁とする。一死後二番今林（瑠）選手はまたもや叩きつけるバッシングで三塁手頭上を越えるタイムリーを放つ。奈多クラブは初回以降となる1点を追加する。一方ライナーズは三回以降毎回ランナーを出す、あと一本が出ず、なかなか追加点を挙げることはできなかった。しかし、六回にチャンスが訪れる。暑さで疲れてきた今林（瑠）から五番久保田選手がライト前にヒットを放つと五番明瀬（旭）選手が上手く一塁にバントヒットを転がし、無死一二塁とする。ここで代打今林（貢）選手が犠打で送り一死二三塁とすると、八番山崎選手の時にWPで得望の1点を追加。二死後、一番中口選手のライト前タイムリー、二番国崎選手のピッチャーの足元への内野安打で更に2点を追加、あと1点で同点と押せ押せムードとなる。二死一二塁となり、ライナーズ同点なるか！しかし奈多クラブエース今林（瑠）投手が必死に踏ん張る。三番明瀬（航）選手をセンターフライに討ち取りゲームセットとなった。最後に単打でつないで1点差まで追いつけたライナーズは見事だったが、有馬投手の立ち上がりを攻め4点を入れた奈多クラブ打線と最後まで熱投で踏ん張った今林（瑠）投手も素晴らしかった。（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則）



奈多クラブ先発今林（瑠）投手。



ライナーズ先発有馬投手。



初回、先制タイムリーを放ったライナーズ宇野選手。



初回、綺麗にライト前ヒットを放つライナーズ久保田選手。



一回裏、鋭い左中間三塁打を放った奈多クラブ馬場口選手。



二回表、ダイビングキャッチの跡が残る奈多クラブ安部選手。



ジャンピングスローのライナーズ明瀬（旭）遊撃手。



二回裏、盗塁を決める奈多クラブ今林（祐）選手。



四回表、深いショートゴロを捌く奈多クラブ上野遊撃手。



四回裏、レフト前を放つ奈多クラブ今林（賢）選手。



六回表、絶妙な犠打を決めるライナース今林（貢）選手。



追加点となるタイムリーを放つライナース中口選手。



この日3本目となるヒットを放つライナース国崎選手。



熱投で投げ切った奈多クラブ今林（瑠）投手。

青松園B 奈多フェニックスがパイレーツの追い上げを振り切り勝利！

新町パイレーツ（2勝5敗）100110 3 牟田●ー桐島

奈多フェニックス（5勝1分）03102× 6 松本○ー今林（英）

2HB：今林（誠）（奈多フ） 盗塁：牟田、浜田（新町パ）福島（奈多フ）、

初回、新町パイレーツは相手失策と連続安打で奈多フェニックス先発松本投手の立ち上がりを攻め、いきなり無死満塁のチャンスを掴むが、後続が倒れ内野ゴロの間に得点した1点のみ。フェニックスも初回到二番福島選

手がセンターヒットで出塁し、すかさず二塁へスチールを決めチャンスを作るものの無得点。しかし、二回裏にも先頭打者である熊丸選手が四球で出塁すると、今林(誠)選手の二塁打を含む3安打を重ね一気に逆転に成功。フェニックスは三回裏にも犠打で1得点を追加し、主導権を握る。パイレーツは必至に逆転しようと四回表に浜田選手のスチールや八坂選手の右翼へのタイムリーで1点、五回表に相手失策等を誘い1点と連続得点で追い上げ、接戦に持ち込んだが、その裏に本日2安打目となる今林(誠)選手のタイムリーを浴びるなど、2点を奪われ万事休す。パイレーツは負けはしたが、全員が声を出し必至なプレーで一塁へのヘッドスライディングが飛び出す等、気迫あふれる試合運びが印象的だった。(記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里一征)



奈多フェニックス先発の松本投手。



和白新町パイレーツ先発の牟田投手。



一回表 三塁手への強烈なヒットを放つ足立選手。



一回裏 フェニックスの初安打となる福島選手。



すかさず二塁へスチール！福島選手。



二回裏 冷静にホームスチールを阻止したパイレーツバッテリー。



三回裏、センター前を放つフェニックス四番今林英二選手。



四回表 二塁へのスチール、パイレーツ浜田選手。



2安打1打点と奮起するパイレーツ八坂選手。



二塁打を含む2安打2打点のフェニックス今林誠選手。

雁レク軟式4 塩浜ジャガーズが効果的な追加点で試合を決める！

塩浜ジャガーズ（4勝3敗） 3 1 1 2 2 0 2 1 1 道喜○ー橋村

新町ウインズ（4勝3敗） 0 0 0 0 0 0 2 2 早田●、岩田ー今林

HR：紺野（塩浜ジ） 2BH：岩田（新町ウ） 盗塁：安藤（一）（新町ウ）

塩浜ジャガーズは初回、先頭バッターの紺野選手が右中間へ本塁打を放ち、チームの士気を上げるのに最高のスタートとなった。さらに制球が定まらないウインズ先発の早田投手から、しっかり四球を選びランナーを置いて、六番稲富選手のセンター前タイムリーで2点を追加した。その後も、紺野選手の本日3安打、石内選手、藤川選手の2安打等で、確実にチャンスをモノにし、六回まで毎回得点で、試合を優位に進めていった。一方、ウインズは、ジャガーズ先発道喜投手の緩急を付けたピッチングに、チャンスは作るものの、あと1本が出ずなかなか点に結びつかない。ようやく終盤にタイミングが合いヒットも出始めたが、最終回2点を取り完封試合は免れたものの反撃が遅すぎた。ウインズも10本のヒットを放ったが、ジャガーズ道喜投手の要所をしめたピッチングが光った試合だった。（記事・写真：三苦ホーネッツ 前園 康壽）



制球に苦しんだウインズ先発 早田投手。



緩急を付けたピッチングで完投勝利のジャガーズ道喜投手。



ダイナミックなフォームで将来性豊かな岩田投手。



岩田投手VSジャガーズ打線の真剣勝負。



俊足、ウインズ安藤（一）選手のバントヒット。



桐島選手の大飛球も石内左翼手の好捕でアウトに。



泉選手の絶妙バントも道喜投手の好フィールディングにあう。



先頭打者HRを含む3安打、本日大活躍の紺野選手。



最終回、意地のヒットを放つウインズ野中選手。



HRを含む3安打のジャガーズ紺野選手と完投勝利の道喜投手。

第12週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ!

第12週、7月31日は4試合が行われました。

青松園Aのブルーマーリンズ対ソルトベイスターズ戦は、今年好調のブルーマーリンズが初回到4点のビハインドを背負いながらも12-4と見事な逆転勝ちでその勢いを見せつけた。

奈多グラウンドの雁ノ巣ライナーズ対奈多クラブ戦は、初回3安打を集めてすぐに逆転した奈多クラブは、後半バテた今林瑠依手が1点差まで追い上げられるも、自身が挙げたリードを守り4-5で辛くも逃げ切った。ライナーズは奈多クラブを2本上回る8安打を放ったが、初回の失点を取り返すにはあと一歩だった。ライナーズ二番国崎選手は3打数3安打の活躍。

青松園Bの新町パイレーツ対奈多フェニックス戦は、どちらもエースを欠く展開。先制を許したフェニックスだったが、二回に3安打で逆転すると、終わってみれば9安打で6得点。フェニックス松本選手が最後まで投げ抜き、3-6でフェニックスの勝利。

雁レク4の塩浜ジャガーズ対新町ウインズ戦は、エースで四番の藤田選手を欠くウインズに対して、先頭の紺野選手のHRで波に乗ったジャガーズがコンスタントに加点して11-2で勝利。ジャガーズ道喜投手が最終回の2点のみに抑えるナイスピッチング。

8月6日からリオデジャネイロオリンピックも開幕しました。

日本と12時間の時差がありますから、夜中にほとんど中継がありますね。

夜更かししてしまいがちですから、きちんと体調を整えましょう。

8月7日からは高校野球も開幕します。今年ももっとも暑い季節になります。